

「弥生」とは、「草木がいよいよ生いしげる」という意味の「いやおい」がもとになった言葉です。3月は多くの植物が芽を出し、鳥がさえずる姿に気づく季節になりました。

●本屋大賞ノミネート作品 もう読みましたか？あなたが選ぶ本屋大賞は？

『アルプス席の母』 早見和真(小学館)…目指せ甲子園!!

『カフネ』 阿部暁子(講談社)…溺愛していた弟の死をきっかけに元カノと運命がかわりはじめる

『禁忌の子』 山口未桜(東京創元社)…上質な医療サスペンス×ミステリー

『恋とか愛とかやさしさなら』 一穂ミチ(小学館)

『成瀬は信じた道をいく』 宮島未奈(新潮社)…個性豊かな面々が成瀬を名を刻む

『小説』 野崎まど(講談社)…小説の沼にはまります!

『spring』 恩田陸(筑摩書房)…待望のダンサー小説

『人魚が逃げた』 青山美智子(PHP研究所)

『生殖記』 朝井リョウ(小学館)

『死んだ山田と教室』 金子玲介(講談社)



せんねん まんねん

まど・みちお

いつかのつぼのヤシの木になるために

そのヤシのみが地べたに落ちる

その地ひびきでミミズがとびだす

そのミミズをへびがのむ

そのへびをワニがのむ

そのワニを川がのむ

その川の岸のつぼのヤシの木の中を

昇っていくのは

今まで土の中でうたっていた清水

その清水は昇って昇って昇りつめて

ヤシのみの中で眠る

その眠りが夢でいっぱいになると

いつかのつぼのヤシの木になるために

そのヤシのみが地べたに落ちる

その地ひびきでミミズがとびだす

そのミミズをへびがのむ

そのへびをワニがのむ

そのワニを川がのむ

その川の岸に

まだ人がやって来なかったころの

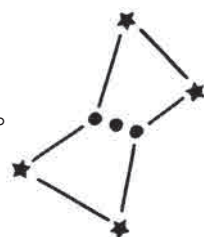
はるなつあきふゆ はるなつあきふゆの

ながいみじかい せんねんまんねん

まど・みちお (1909〜2014) 詩作は20代から始め、25歳のときに北原白秋にその才能を認められる。生涯にわたって詩を作り続け、「ぞうさん」「やぎさんゆうびん」等の童謡でも親しまれている。本詩は、あすなろ書房『まど・みちお』収録

●3月のほしぞら

南の空には、冬の大三角である、オリオン座のベテルギウス、おおいて座のシリウス、こいぬ座のプロキオンがまだはっきりと見えます。北の空には、ぎょしゃ座のカペラがもっとも輝いて見えます。『かこさとし ほしのほん はるのほし』 かこさとし(偕成社)…ほしを見つけるのが簡単!!



図書館利用サービスのご案内

【本の宅配します】

高齢者・障がい者の方へ本をお届けします。

きまった本がなくてもこちらで選んでお持ちします。大きい文字の本、写真集、雑誌など

問い合わせ ☎59・2460 図書館

親子で参加しよう

心を育む絵本とわらべうた

3月19日(水)午前10時〜

講師 横山由美子先生

あかちゃん身体調和体操・読み聞かせ

3月13日(木)午前11時〜27日(木)午前10時〜

講師 武井礼子先生

毎月15日は「^{うちどく}家読の日」です。それぞれのご家庭で、ぜひ取り組んでみてください。